



きれいな学校 輝く笑顔 ~J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)~

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関 2 8 2

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

あなたの座右の銘はなんですか？ 埼玉県ゆかりの偉人に思いを馳せて!!

校長 新井 敬二郎

新年明けましておめでとうございます。平成27年は未(羊)年です。古来より「群れをなす羊は、家族の安泰を示しつつまでも平和に暮らす事」を意味しています。皆さまにとって良い年になりますことをご祈念申し上げます。

さて、新年という事で今回は「座右の銘・格言」について話をしたいと思えます。座右の銘とは、常に自分の心にとめておいて、戒めや励ましとする格言のことです。私自身は、西郷隆盛の「敬天愛人」という言葉が大好きです。では埼玉県ゆかりの偉人たちは、どんな言葉を残されているのでしょうか。そもそも埼玉県出身の偉人をご存知ですか。浦和駅西口ロータリーに「埼玉三偉人」のレリーフがあります。そこには、塙保己一氏、渋沢栄一氏、畠山重忠氏が取り上げられています。ところが埼玉県のホームページでは、畠山重忠氏の代わりに荻野吟子氏、下總皖一氏が加わっています。それでは、埼玉県HPから各氏の人となり「座右の銘」を紹介します。



浦和駅西口ロータリー-埼玉三偉人



塙 保己一(はなわ ほきいち)

「身にあまる 恵ある世は よむ文の

少なきのみや なげきなるらん」

【江戸時代の儒学者】

保己一は、延享3年(1746)、現在の児玉町で生まれました。7歳の時に病がもとで視力を失いますが、努力をして天下に名の知れた国学者となります。特に1819年に完成させた「群書類従」は、「古典の宝庫」といわれ、日本文学・歴史の貴重な資料となっています。やがて盲人として最高位の総剣校となり76歳の生涯を閉じました。



渋沢 栄一(しぶさわ えいち)

「経済は道徳より生じ、道徳は経済の働きによって発達する

道徳と経済は一致すべきものである」

【日本近代経済社会の父】

栄一は、天保11年(1840)、現在の深谷市に生まれました。小さい頃から頭がよく、好奇心旺盛だった栄一は、片っ端から読書し、14歳で家業の藍葉の買い付けをするなど商才を発揮しました。1867年にはパリ世界大博覧会に幕臣として随行しました。明治になり大蔵省に出仕すると税制、貨幣、銀行などの確立に取り組みます。その後大蔵省をやめ、第一国立銀行をはじめ、営利企業約500社の設立に寄与しました。「道徳経済合一説」が信念です。





荻野 吟子 (おぎの ぎんこ)

「人 その友のために己の命を損つるは 是より大なる愛はなし」

【日本の女性医師第1号】

吟子は嘉永4年(1851)、現在の妻沼町に生まれました。幼い頃から利発で向学心を持っていました。結婚してすぐに不慮の病に冒され入院しますが、そこで男性医師に治療を受けた際、耐え難い羞恥、屈辱感を味わいます。それで自ら医師になる決意をしました。ところが当時の日本は男性社会で医学校への入学も認められませんでした。

苦難の道乗り越え女医になったのは吟子35歳の時でした。明治18年に「産婦人科 荻野医院」を開業すると、その後キリスト教に入信し婦人参政権運動にも力を入れました。



下總 皖一 (しもおさ かんいち)

「高く飛ぶ鳥は 地に伏すこと 長し」

【日本の近代音楽の基礎を作った】

皖一は明治31年、現在の加須市に生まれました。父が校長先生だった小学校へ入学するとベビーオルガンと出会います。東京音楽学校を首席で卒業するとドイツに渡り新しい作曲の知識を吸収します。帰国すると理論書を次々発表し、「和声学の神様」と呼ばれるようになります。

「たなばたさま」、「野菊」、「はなび」など作曲した童謡・唱歌は著名です。校歌も手掛けたものは500曲以上、埼玉県だけでも90曲にのぼります。1956年には東京芸術大学の学部長となり、日本音楽教育の頂点に立ちました。



いかがですか。埼玉県ゆかりの偉人さんの言葉が胸に響いたでしょうか。言葉の背景にあるその人の業績や人柄を理解するともっと歴史が楽しく、知りたくなってきませんか。紹介した4名の偉人さんは、深谷市、妻沼町、加須市、児玉町と県北部に位置しています。一日で回れますのでゆっくり訪ねてみてはいかがでしょうか。次は歴史上の著名人の「格言」です。私の大好きな西郷隆盛氏もいます。今年の大河ドラマ吉田松陰先生もいます。上杉鷹山氏もいます。

ほんの少し、一緒に歴史の勉強をしませんか。



西郷 隆盛 (さいごう たかもり)

敬天愛人(天を敬い、人を愛する)

過ちを改めるにあたっては、自分から誤ったときえ思いついたら、それで良い。そのことをさっぱり思いすてて、すぐ一歩前進することだ。

過去の過ちを悔しく思い、あれこれと取りつくろうと心配するのは、たとえば茶碗を割ってそのかけらを集めてみるのと同様何の役にも立たぬことである。

【江戸幕府を倒した明治維新最大の功労者】

薩摩藩の下級藩士として生まれる。禁門の変以降に活躍し、薩長同盟の成立や王政復古に成功し、戊辰戦争を巧みに主導した。江戸総攻撃を前に勝海舟らとの降伏交渉に当たり、幕府側の降伏条件を受け入れて、総攻撃を中止した(江戸無血開城)。その後、大久保利通らと対立し、下野する。明治10年(1877年)、西南戦争の指導者となるが、敗れて鹿児島県の城山で自刃した。享年51歳。



吉田 松陰 (よしだ しょういん)

「一日一字を記さば 一年にして三百六十字を得

一夜一時を怠らば、百歳の間三万六千時を失う」

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし。 故に、夢なき者に成功なし。」

【明治維新の師、松下村塾で人を育てる】

幕末動乱期、明治維新を打ち立てることになる多数の門下生
(高杉晋作、伊藤博文、 山県有朋) を輩出したことで有名な

「松下村塾」。その師といえば吉田松陰先生です。長州藩に生まれ、幼少より才能が認められる。ペリー来航の際、密航を企てるが失敗する。安政の大獄により処刑され、新時代の訪れを見る前にこの世を去った。



上杉 鷹山 (うえすぎ ようざん)

「成せばなる 為さねばならぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」

何事も成功しないのはやろうとしないからだ という教訓です。

【赤字の米沢藩の財政を立て直した】

米沢藩主で江戸時代明和年間(1769年頃)に藩の行財政の改革をやった人です、藩主に就いた頃(他家から養子に入った人)藩は20万両もの借財があり藩を幕府に返上しようとしたくらい財政的に逼迫していた。これを儉約殖産を奨励して立て直したのです。幕府将軍からも褒賞され他藩の模範となった。

実際には50年もかかったそうですが…。



校長室には、たくさんの偉人の格言・言葉が掲示してあります。どなたの残した言葉かわかりますか、次のクイズに挑戦してください。①～⑩の格言は、右のア～コのどの人物のものでしょうか。

- ① 初心、忘るべからず。
- ② 青年よ、大志を抱け！
- ③ 今一度日本を洗濯致し候。
- ④ 私は太平洋の橋になりたい。
- ⑤ 井の中の蛙、大海を知らず。
- ⑥ その疾きこと風のごとく、その徐かなること林のごとし。侵掠すること火の如く、動かざること山の如し。
- ⑦ 我思う、故に我在り。
- ⑧ 不自由を常と思えば不足なし。
- ⑨ 天は人の上に人をつくらず 人の下に人をつくらず。
- ⑩ 働くと言うのは、はたを楽にしてやることだ。

- ア 山本有三
- イ 新渡戸稲造
- ウ ルネ・デカルト
- エ 孫子
- オ クラーク
- カ 世阿弥
- キ 徳川家康
- ク 福沢諭吉
- ケ 荘子
- コ 坂本龍馬



さて、短い三学期が始まりました。この時期は「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と表現されます。「昔の人は本当にうまいことを言うな」と感心しました。1月は正月があり、2月は元々28日で普通の月より短く、3月は卒業式など年度末なのでやることが多い。こうしたことから、1, 2, 3月は日が早く過ぎる(やることが多いのに思うように進まない)ということの意味しているそうです。さあ、「1月は行く」の始まりです。

大久保地区小・中一貫教育目指す児童生徒像 「ふるさとを愛し 志高く生きる 心優しい大久保の子ども」